

# 総合的な学習の時間と キャリア教育活動について

神奈川県立弥栄東高等学校

上田敏和

## 1 はじめに

学校教育法第42条（高等学校教育の目標）第2項には「社会において果たさなければならない使命の自覚に基づき、個性に応じて将来の進路を決定させ、一般的な教養を高め、専門的な技能に習熟させること」とある。すなわち、進路指導は高等学校教育の目標の1つであり、柱の1つである。学習指導要領においても、総則第6款において「生徒が自らの在り方生き方を考え、主体的に進路を選択できるよう、学校の教育活動全体を通じて、計画的、組織的な進路指導を行うこと」とし、さらに第3章「特別活動」の中で進路指導の具体的内容をあげている。

「キャリア教育」という言葉が広く知られるようになったのは、平成11年12月に出された中央教育審議会答申「初等中等教育と高等教育の接続の改善」が契機であった。出口指導に偏った進路指導ではなく、「在り方生き方を考える学習活動」といった本質的な意味での「進路指導」が「キャリア教育」と称され、その必要性が今強く求められている。学習指導要領においても、ガイダンス機能の重視、「産業社会と人間」の学校設定教科への可能性が提示され、「総合的な学習の時間」においては「自己の在り方生き方や進路について考察する学習活動」が例示されたことは、その裏付けといえる。

## 2 総合的な学習の時間とキャリア教育

「総合的な学習の時間」においては「在り方生き方を考える学習活動」が広がりを見せている。特に第1学年においては「在り方生き方を考える学習活動」つまり「キャリア教育」が実践されている場合が多い。こうした動きは新学習指導要領において「総合的な学

習の時間」が導入された成果の1つといえる。

「進路指導とは生徒の個人資料、進路情報、啓発的体験及び相談を通して、生徒自ら、将来の進路の選択・計画をし、就職または進学して、さらにその後の生活によりよく適応し、進歩する能力を伸長するように、教師が組織的・継続的に指導・援助する課程である」（文部省「中学校・高等学校進路指導の手引き」と定義されている。前述のように、本質的な意味での進路指導をキャリア教育と考えるとキャリア教育には6つの領域がある。

### (1) キャリア教育の6つの領域

- ① 個人資料の理解（自己理解）
- ② 進路情報の理解
- ③ 啓発的体験
- ④ 進路相談

以上の4つの領域を踏まえて、以下の2領域がある。

- ⑤ 進路の選択・決定の援助
- ⑥ 進路先へ適応力

キャリア教育はこの実現を目指した教育活動であり、しかも、それを組織的・継続的に行うものといえることができる。

### (2) キャリア教育の3つの場面

キャリア教育は学校教育全体を通して行われるものであるが、特に強く関わる場面としては、「進路学習」「啓発的体験」「進路相談」の3つの場面が考えられる。

「進路学習」には次の7つの分野がある。

- ① 進路適性の理解
- ② 進路情報の理解と活用
- ③ 望ましい職業観の形成
- ④ 将来の生活設計
- ⑤ 適切な進路の選択決定
- ⑥ 学ぶことの意義と理解
- ⑦ 進路先への適応

「進路学習」は主にワークシートを用い「総合的な学習の時間」や「特別活動」で実施される。「啓発的体験」には、学校行事やボランティア、出張講義、就業体験などの体験学習があり、校内にとどまることなく校外での活動が含まれる。「進路相談」は、生徒の個人情報の理解、相談のための機会の設定、相談の技術の3要件が必要となる。

本校においても、昨年より第1学年においては、キャリア教育を行っている(資料1)。しかし、もともと「総合的な学習の時間」を3F(不要・負担・不安)と考える教員が多い中で、自らの経験のないキャリア教育には反対が根強く、会議の席では罵声を浴びることもしばしばあった。しかし、生徒の変容とともに教員の意識は変わり、本年度は1年間経験したこともあるであろうが、前向きに取り組まれている。生徒が変われば教師も変わる。新しい試みに対し、教員は慎重である。反対が多い中でも、一貫した姿勢を貫いていくことが、新しい試みを導入するには必要であろう。

資料1 平成16年度 総合的な学習の時間(在り方生き方を考える学習活動)年間計画

| 月  | 日  | 曜 | 活 動 内 容          |
|----|----|---|------------------|
| 4  | 3  | 金 | (学年始休業)          |
|    | 10 | 金 | (部活動紹介)          |
|    | 17 | 金 | ガイダンス            |
|    | 24 | 金 | (面接週間・6月12日の振替)  |
| 5  | 1  | 金 | レディネス検査事前学習      |
|    | 8  | 金 | レディネス検査          |
|    | 15 | 金 | レディネス検査事後学習      |
|    | 22 | 金 | 職業調べ事前学習         |
| 6  | 29 | 金 | (火曜授業)           |
|    | 5  | 金 | 職業調べグループ発表       |
|    | 12 | 金 | 職業別ガイダンス(6, 7)   |
|    | 19 | 金 | 社会人講話(6, 7)      |
| 7  | 26 | 金 | (6月19日の振替)       |
|    | 3  | 金 | (期末考査)           |
|    | 10 | 金 | 上級学校調べ事前学習       |
|    | 17 | 金 | (終業式)            |
| 8  | 31 | 金 | (夏期休業)           |
|    | 7  | 金 | (夏期休業)           |
|    | 14 | 金 | (夏期休業)           |
|    | 21 | 金 | (夏期休業)           |
| 9  | 28 | 金 | (夏期休業)           |
|    | 4  | 金 | (10月2日の振替)       |
|    | 13 | 金 | (文化祭準備)          |
|    | 18 | 金 | (代休)             |
| 10 | 25 | 金 | 上級学校調べグループ発表     |
|    | 2  | 金 | 弥栄総合大学(4, 5, 6)  |
|    | 9  | 金 | 学部学科調査事前学習(6, 7) |
|    | 16 | 金 | (10月2日の振替)       |
| 11 | 23 | 金 | (月曜授業)           |
|    | 30 | 金 | 学部学科調査グループ発表     |
|    | 6  | 金 | 課題研究ガイダンス        |
|    | 15 | 金 | 課題研究課題決定(6, 7)   |
| 12 | 20 | 金 | (11月9日の振替)       |
|    | 27 | 金 | (11月15日の振替)      |
|    | 4  | 金 | (期末考査)           |
|    | 11 | 金 | 課題研究中間発表(6, 7)   |
| 1  | 18 | 金 | (12月11日の振替)      |
|    | 25 | 金 | (冬季休業)           |
|    | 1  | 金 | (冬季休業)           |
|    | 8  | 金 | (月曜授業)           |
| 2  | 15 | 金 | 課題研究活動(まとめ)      |
|    | 22 | 金 | 課題研究グループ発表       |
|    | 29 | 金 | 課題研究クラス発表(6, 7)  |
|    | 5  | 金 | (1月29日の振替)       |
| 3  | 12 | 金 | 1年間を振り返って        |
|    | 19 | 金 | 課題研究全体発表(6, 7)   |
|    | 26 | 金 | (2月19日の振替)       |
|    | 4  | 金 | (学年末考査)          |
| 3  | 11 | 金 | (午前中授業)          |
|    | 18 | 金 | (午前中授業)          |
|    | 25 | 金 | (学年末休業)          |

一方、キャリア教育が広がる中で、すそ野が広がった分、キャリア教育に精通していない教員が増えたともいわれている。しかし、こうした教員が成長することで、高等学校のキャリア教育の質は向上していくものと思われる。

### 3 今後の課題

今後課題になると思われるのは「特別活動」との連携をどうとるのかということであり、第1学年における「在り方生き方」について考えた学習活動の成果が、その先の学年にどのように繋がるのかということである。

「特別活動」は「在り方生き方を考える学習活動」の内容と重なる部分を持っているため、相互に連携した教育活動を行うことは、組織的なキャリア教育を行う上で大きな効果を期待することができる。

2年次以降は「総合的な学習の時間」の中でキャリア教育を引き続き行う高校とそうでない高校がある。前者の場合は第1学年での成果が継続される可能性が高く、さらに内容の濃い学習内容が求められる。一方、後者の場合は第1学年での成果を生かすためには、2年次以降の「特別活動」の中で「在り方生き方を考える学習活動」を体系的に取り入れていく必要がある。

最後に「総合的な学習の時間」及び「特別活動」も含めた3年間のキャリア教育のモデルプランを提示しておきたい(資料2)。ここでは以下の3点に配慮している。

#### (1) スパイラルな積み重ね

「進路学習」の7つの分野を各分野が互いに相乗効果をあげるように、学期を追うごとに、また学年を追うごとにスパイラルに積み上げるように作成されている。

#### (2) 事前学習と事後学習

各活動が単独の孤立した活動となることがないように、事前学習と事後学習を取り入れ、さらに前の活動が次の事前活動に繋がるような単元配置がされている。

#### (3) 「総合的な学習の時間」と特別活動

「総合的な学習の時間」は、課題発見・解決能力の育成や、学び方やものの考え方を身につけ、問題解決に取り組む姿勢を育て、自己の在り方生き方を考えることができるようにすることがねらいである。そのため、「総合的な学習の時間」においては「考える」活動や課題の発見・解決、体験的側面の強い活動を行うよう構成されている。

資料2-① 職業観・勤労観を育む学習カリキュラム (第1学年)

注: 特は特別活動、総は総合的な学習の時間、特\*は学校行事を示す。

高等学校

1年

| 1 学 期   | 2 学 期   | 3 学 期  |
|---|---|--|
| フレッシュマンキャンプ<br>(配当10時間)   | 自分を知る I (2)<br>(配当5時間)  | 課題研究<br>(配当9時間)  |
| フレッシュマンキャンプ<br>①研修オリエンテーション<br>①構成的エンカウンター<br>②総学ガイダンス<br>②学校オリエンテーション<br>③④学習体験<br>⑤自己紹介<br>⑥ゲーム「月で迷った」<br>⑦教科オリエンテーション<br>⑧⑨⑩作業体験<br>⑩まとめ | 自分史の作成<br>①作成方法を知る<br>②自分史分析シート記入<br>レディネス検査<br>③ジョハリの窓記入<br>④レディネス検査受検<br>⑤プロフィールの作成 | 課題研究<br>①課題研究個人指導<br>②③中間発表<br>④⑤課題研究個人指導<br>⑥⑦クラス発表<br>課題研究発表<br>⑧⑨学年発表 |
| 自分を知る I (1)<br>(配当2時間)  | 情報の理解と活用 II (2)<br>(配当9時間)  | 価値観の形成 I (3)<br>(配当1時間)  |
| 自分カードの作成<br>①自分カード記入<br>②自分の特徴を考える  | 上級学校調べ I<br>①②文字媒体、インターネット等で上級学校を調べる<br>③発表する   | 地域人講話<br>④地域の人の話を聴く  |
| 学ぶことの意義と理解 I (1)<br>(配当1時間)   | 総合大学<br>④全体会<br>⑤⑥学問別に分かれ講義を受ける   | 将来設計・進路選択 I (3)<br>(配当1時間)   |
| 高校生活での学習方法を考える<br>①学習計画を立てる   | 学部学科調べ<br>⑦⑧文字媒体、インターネット等で学部学科を調べる<br>⑨発表する   | 職業選択シミュレーション<br>⑤職業選択の方法を考える   |
| 情報の理解と活用 I (1)<br>(配当13時間)  | 将来設計・進路選択 I (2)<br>(配当2時間)  | 学ぶことの意義と理解 I (2)<br>(配当1時間)  |
| 進路先の種類を知る<br>①卒業後の進路を知る<br>進路情報校内探索<br>②進路情報のある場所を知る<br>③校内探索をする  | 科目選択を考える I<br>①科目選択の説明を聴く<br>②将来と科目選択を関連づけて考える  | 学習と実生活の関連を考える<br>②私の一日ワークシート   |
| 職業調べ I<br>④⑤文字媒体、OHBY、インターネット等で職業を調べる   | 価値観の形成 I (2)<br>(配当1時間)   |  |
| 職業インタビュー<br>⑥社会のマナーについて学ぶ<br>⑦インタビュー先選定とアポイントメント<br>⑧⑨取材をする<br>⑩発表準備<br>⑪⑫発表・まとめ<br>⑬礼状を書く  | 社会人講話<br>①社会人の話を聴く  |  |
| 情報の理解と活用 II (1)<br>(配当1時間)  | 将来設計・進路選択 I (3)<br>(配当1時間)  |  |
| 教育実習生講話<br>①教育実習生の話聴く   | 将来の夢や希望を考える<br>④将来の夢や希望を記入する  |  |
| 情報の理解と活用 I (2)<br>(配当2時間)   | 課題研究<br>(配当2時間)   |  |
| 職業別ガイダンス<br>①②職業別にわかれ、実習を行う   | 課題研究<br>①課題研究の方法・情報源、研究のまとめ方・発表方法等を知る<br>②課題研究テーマ指導                                   |  |
| 価値観の形成 I (1)<br>(配当1時間)   |   |  |
| 働く目的を考える<br>①なぜ働くのか考える  |   |  |
| 将来設計・進路選択 I (1)<br>(配当1時間)  |   |  |
| 30年後の私<br>①30年後の将来像を描く  |   |  |
| ●総合的な学習の時間 14時間<br>●特別活動 16時間<br>(LHR 6時間 学校行事10時間)   | ●総合的な学習の時間 14時間<br>●特別活動 6時間<br>(LHR 6時間 学校行事0時間)                                     | ●総合的な学習の時間 7時間<br>●特別活動 5時間<br>(LHR 3時間 学校行事2時間)                         |

高等学校

2年

| 1 学 期  | 2 学 期   | 3 学 期   |
|--|---|---|
| <p><b>学ぶことの意義と理解Ⅱ（1）</b><br/>（配当2時間）</p> <p>高校生活の充実を考える<br/>①1年次の振りかえりと2年次の目標設定</p> <p>学習計画の作成<br/>②学習計画を立てる<br/>②総学の概要を知る</p> <p><b>自分を知るⅡ（1）</b><br/>（配当3時間）</p> <p>個性について考える<br/>①個性について考える</p> <p>自分を振り返る<br/>②私シートに記入する<br/>③お互いに模擬面接を行う</p> <p><b>インターンシップ</b><br/>（配当34時間）</p> <p>ガイダンス<br/>①インターンシップについて理解する<br/>②インターンシップ先を決める<br/>③マナーについて学ぶ</p> <p>職業調べⅡ<br/>④インターンシップ先を調べる</p> <p>インターンシップ<br/>⑤直前指導<br/>⑥～29インターンシップ<br/>30礼状を書く</p> <p>インターンシップ発表<br/>3132発表準備<br/>3334発表・まとめ</p> <p><b>価値観の形成Ⅱ（1）</b><br/>（配当1時間）</p> <p>価値観を知る<br/>①ダイヤモンドランキングで自分の価値観について考える</p> <p><b>情報の理解と活用Ⅲ（1）</b><br/>（配当4時間）</p> <p>上級学校調べⅡ<br/>①②文字媒体、インターネット等で見学する上級学校を調べる</p> <p>オープンキャンパス参加<br/>③④オープンキャンパスに参加する</p> | <p><b>情報の理解と活用Ⅲ（2）</b><br/>（配当1時間）</p> <p>オープンキャンパス参加<br/>①発表する</p> <p><b>自分を知るⅡ（2）</b><br/>（配当3時間）</p> <p>進路適性検査<br/>①自己・他者の評価を知る<br/>②進路適性検査受検<br/>③自己の適性について考える</p> <p><b>情報の理解と活用Ⅲ（3）</b><br/>（配当5時間）</p> <p>先輩の話を書く<br/>①卒業後6～7年の卒業生の話を聞く</p> <p>分野別ガイダンス<br/>②③分野別にわかれ、話を聞く</p> <p>大学人講演会<br/>④⑤大学の先生の話を書く</p> <p><b>将来設計・進路選択Ⅱ（1）</b><br/>（配当2時間）</p> <p>科目選択を考えるⅡ<br/>①科目選択の説明を聞く<br/>②将来と科目選択を関連づけ、履修計画を立てる</p> <p><b>価値観の形成Ⅱ（2）</b><br/>（配当1時間）</p> <p>職業生活と生き方を考える<br/>①職業と生き方で重視するものを考える</p> <p><b>将来設計・進路選択Ⅱ（2）</b><br/>（配当2時間）</p> <p>ライフプランを立てるⅠ<br/>①これまでの生き方を振り返る<br/>②ライフプランを立てる</p> <p><b>ディベート</b><br/>（配当10時間）</p> <p>ディベート<br/>①ディベートについて理解する<br/>②③役割を決め、作戦会議を行う<br/>④ディベートを行う<br/>⑤⑥役割を決め、作戦会議を行う</p> <p>ディベート発表<br/>⑦⑧⑨⑩クラス対抗ディベート大会</p> | <p><b>価値観の形成Ⅱ（3）</b><br/>（配当1時間）</p> <p>保護者講話<br/>①保護者の話を聴く</p> <p><b>学ぶことの意義と理解Ⅱ（2）</b><br/>（配当2時間）</p> <p>進路と今の学習の関連を考える<br/>①②これからの進路選択に必要な学習を考える</p> <p><b>将来設計・進路選択Ⅱ（3）</b><br/>（配当7時間）</p> <p>ライフプランを立てるⅡ<br/>①先輩のライフプランを読む<br/>②③ライフプラン作文<br/>④作文入力<br/>⑤ライフプラン読書会<br/>⑥⑦クラス発表<br/>ライフプラン発表<br/>⑧⑨ライフプラン学年発表</p> |

●総合的な学習の時間 14時間  
●特別活動 30時間  
(LHR 6時間 学校行事24時間)

●総合的な学習の時間 14時間  
●特別活動 10時間  
(LHR 6時間 学校行事4時間)

●総合的な学習の時間 7時間  
●特別活動 5時間  
(LHR 3時間 学校行事2時間)

資料2-③ 職業観・勤労観を育む学習カリキュラム (第3学年)

注：特は特別活動、総は総合的な学習の時間、特\*は学校行事を示す。

高等学校

3年

| 1 学 期   | 2 学 期  | 3 学 期  |
|---|--|--|
| <p><b>学ぶことの意義と理解Ⅲ</b><br/>(配当2時間)</p> <p>高校生活の完成を目指す<br/>①2年次の振りかえりと3年次の目標設定</p> <p>進路計画の作成<br/>②進路実現のための計画を立てる</p>   | <p><b>情報の理解と活用Ⅳ (2)</b><br/>(配当1時間)</p> <p>卒業生講演会<br/>①3月卒業の卒業生の話を聴く</p>   | <p><b>進路先での適応</b><br/>(配当2時間)</p> <p>進路先での適応を考える<br/>①②進路先で起こりうる問題への対処法を考える</p>                            |
| <p><b>自分を知るⅢ</b><br/>(配当5時間)</p> <p>職業適性検査<br/>①将来の職業を考える<br/>②③職業適性検査受検<br/>④適性について考える</p> <p>適性について知る<br/>⑤適性シートに記入する</p>   | <p><b>キャリアセンター見学</b><br/>(配当10時間)</p> <p>ガイダンス<br/>①キャリアセンター見学について理解する<br/>②見学先を決める<br/>③マナーについて学ぶ</p> <p>キャリアセンター見学<br/>④⑤⑥⑦上級学校のキャリアセンターを見学する</p> <p>キャリアセンター見学発表<br/>⑧発表準備<br/>⑨⑩発表する</p> | <p><b>将来設計・進路選択Ⅲ (3)</b><br/>(配当8時間)</p> <p>10年後の自分へ<br/>①10年後の自分に作文を書く</p>                                |
| <p><b>上級学校体験</b><br/>(配当14時間)</p> <p>上級学校調べⅢ<br/>①②文字媒体、インターネット等で志望する上級学校を調べる<br/>会議を行う</p> <p>上級学校体験ガイダンス<br/>③上級学校体験について理解する<br/>④体験先を決める</p> <p>上級学校体験<br/>⑤⑥⑦⑧⑨⑩上級学校で授業を受ける</p> <p>上級学校体験発表<br/>⑪⑫発表準備<br/>⑬⑭発表する</p> | <p><b>将来設計・進路選択Ⅲ (2)</b><br/>(配当2時間)</p> <p>新たな進路に向けて<br/>①新しい学生生活のプランニング</p> <p>進路の再確認<br/>②進路の再確認をし、変更があれば変更先を考える</p>  | <p><b>キャリア学習まとめ</b><br/>(配当7時間)</p> <p>キャリア学習まとめ<br/>①これまで学んできたことを振りかえる<br/>②③レポート作成<br/>④冊子の作成</p>        |
| <p><b>情報の理解と活用Ⅳ (1)</b><br/>(配当1時間)</p> <p>進路講演会<br/>①予備校から話を聴く</p>   | <p><b>価値観の形成Ⅲ (2)</b><br/>(配当1時間)</p> <p>職業選択のあり方を考える<br/>①自分にあった職業選択を考える</p>  | <p><b>将来設計・進路選択Ⅲ (2)</b><br/>(配当2時間)</p> <p>キャリアプランを立てる<br/>①キャリアプランを立てる</p> <p>進路を選択するⅡ<br/>②志望校を決定する</p> |
| <p><b>価値観の形成Ⅲ (1)</b><br/>(配当2時間)</p> <p>フリーターについて考える<br/>①ビデオを視聴<br/>②フリーターについて考える</p>   | <p><b>情報の理解と活用Ⅳ (3)</b><br/>(配当3時間)</p> <p>労働法・社会保障を学ぶ<br/>①労働法・社会保障の知識を得る</p> <p>雇用環境を知る<br/>②現在の雇用環境の知識を得る</p> <p>学ぶ制度と機会を知る<br/>③生涯学習の機会の知識を得る</p> <p>生涯の支出を考える<br/>④生涯にわたる支出を算出する</p>    | <p><b>将来設計・進路選択Ⅲ (1)</b><br/>(配当2時間)</p> <p>進学の準備をする<br/>①選択条件を確認する<br/>②志望校を調査し、比較検討する</p>                |

●総合的な学習の時間 14時間  
●特別活動 12時間  
(LHR 6時間 学校行事 6時間)

●総合的な学習の時間 14時間  
●特別活動 6時間  
(LHR 6時間 学校行事 0時間)

●総合的な学習の時間 7時間  
●特別活動 3時間  
(LHR 3時間 学校行事 0時間)